



認知症サポーター養成講座 大蔵学童保育クラブ

主催：鶴川第1高齢者支援センター

認知症啓発活動の取り組みのご報告

令和7年

8

月29日、大蔵学童保育クラブにて認知症サポーター養成講座を開催しました。

認知症サポーター養成講座とは？

認知症についての正しい知識と理解を身につけた
「認知症サポーター」を養成するための講座です

今回は小学3年生のみなさんを対象として、約30名の参加となりました。講師には井上氏をお招きして、紙芝居による認知症の講義を行いました。



認知症とは何か？という基本的な話から始まり、認知症の症状はどのようなものか、

アットホームな雰囲気の中で認知症の学習ができました

また、認知症の当事者にはどのように接したらよいかなど、紙芝居の絵を活用して分かりやすく説明を受け、小学生のみなさんは興味を持って積極的に学んでいました。

講座の後にはアンケートに答えて頂きました。認知症の方と接したことのある人は少なく、認知症に対する印象として「たいへんそうだ」との意見や、記憶が欠落していくという症状への恐れを感じたというような感想もありました。

まだプロセスが分からず治療法のない「認知症」という存在に対して、漠然とした畏怖を抱くのは当然のことですが、短時間の講座の中でそのような印象を持てるほどに認知症のおおまかな姿を理解してもらえたことは、今回の講座に十分な意義があったと感じています。